

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（7）	<p>1. 学校及び公共施設のトイレの洋式化について</p> <p>学校や公共施設のトイレの洋式化について、これまで複数回取り上げ改善を求めてきました。最初に取り上げたのは、平成28年6月定例会です。</p> <p>当時の学校トイレの洋式化率は平均32.9%（13.8%から82.8%）でした。多くの学校がトイレの3K（臭い・暗い・汚い）または5K（臭い・暗い・汚い・怖い・壊れている）状態でした。</p> <p>改修については、校舎の耐震化が終了したので、平成28年度から5年かけてトイレの洋式化率45%を目標に、とりあえず遅れているところは30%に引き上げていくとの答弁でした。</p> <p>学校のトイレ研究会理事の河村氏は、平成22年にトイレの改修前後に、「トイレについてあなたが普段感じていることは？」と題して、公立小学校5、6年生166人にアンケートを取りました。</p> <p>改修前では、「トイレの臭いが気になる」が152人、「トイレが汚れていることが多い」が134人、「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」が75人でした。「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」と答えた児童のうち、「トイレが汚くて臭うから」、「和式便器が嫌だから」、「人がいると恥ずかしいから」との理由が続きました。</p> <p>一方、改修後では、トイレを我慢した児童が2割減少したことから、トイレの汚さは子供たちの心理に影響することが分かりました。「ウンチをしているとからかわれる」という回答が、改修前は7人だったのが、改修後はゼロ人になり、トイレがきれいになると、からかわれることも少なくなることも分かりました。汚い密室で用を足すことで、「あいつは汚いところを利用している」という認識が同級生の間で生まれ、からかうという負の連鎖が生じているのです。トイレに行くことを我慢するのは「汚さ」が理由の1番だと報告されています。</p> <p>学校は子供たちが1日過ごす生活の場です。トイレを我慢すれば子供たちの健康に影響を及ぼします。</p> <p>また、同トイレ研究会が行った平成30年度全国公立小中学校教職員向けアンケートの結果、学校で施設改善が必要と思われる場所の第1位がトイレだったという報告も出されています。</p> <p>これまで、学校以外では、まちづくりセンター、市立体育館、都市公園などのトイレの洋式化を取り上げ、改善を求めてきました。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（7）	<p>特に、高齢者にとって和式便器はとても大変です。災害時、避難場所では洋式トイレに長蛇の列ができ、いくらペットボトルの水を配っても水分を控える高齢者が多かったことを聞いています。</p> <p>なぜトイレにこだわるのか。それは、生きていくためにはとても大事な場所だからです。その観点から以下質問いたします。</p> <p>(1) 学校及び公共施設のトイレの洋式化についての見解を伺います。</p> <p>(2) これまで取り上げた学校、まちづくりセンター、市立体育館、都市公園などの改善状況と、今後の方向性について伺います。</p> <p>(3) トイレの洋式化が進んでいない中央図書館（隣接する分館を含む）及び富士川ふれあいホールの対策について伺います。</p>	市長及び教育担当部長